

ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室（ひよこ組） 令和7年1月号 No.9

新しい年が始まり、体調を崩すこどももいましたが、元気なこどもたちの声がきかれ、たくさんの笑顔が見られています。2025年は巳年^{きのとみ}ですね。へびが定期的に脱皮を繰り返すことに由来し、己巳の年は、これまでの努力や準備が実を結び始め成長する時期と言われています。しかし、成長の速度は人それぞれなので、辛抱強さが試される年にもなります。焦らず粘り強く、時には思い切ってチャレンジをしながら、お子さんとの関わりを深め子育てを楽しんで下さい。

1月15日（水）お正月の雰囲気が残る中、幼稚部と一緒に『もちつき』を体験しました。お部屋ではお母さんと一緒にもちつき練習！お母さんが手水をしてくれる中「ぺったん、ぺったん」お餅をつき、杵の先が白くなるのを楽しんだこどももいました。練習用のお餅はのびる粘土。お餅を伸ばすように「びよーん」とひっぱったり、「ころころ」丸めて重ねたり、食べやすいように小さくちぎったりと、イメージを膨らませていました。練習をした後は、もちつきの場所へ！炊き上がった餅米の香り、つき始めに飛んでくるお米、もちつきの振動など、初めての体験一つ一つに興味を持ち、楽しんでいました。杵は重いので、お餅はお母さんと一緒に「ぺったん、ぺったん」つきました。つきあがったお餅は、ツンツン触って柔らかさを感じたり、練習と同じように「ころころ」丸めて鏡餅のように重ねたりとたくさん触れ、顔に粉がついているこどももいました。お餅は袋に入れて大事に持ち帰り、お家で食べたそうです。



前年のうるう年の関係で、今年の節分は2月2日（日）ですね。幼児教室では、少し早く豆まきを実施します。節分はよくないものを追い出す日と言われており、豆まきをしたり、恵方巻きを食べたりする家庭が多いのではないのでしょうか。お子さんと「イヤイヤ鬼」「泣き虫鬼」「怒りんぼ鬼」などを追い出そうねと話をしたり、豆をまく時には「おにはそと、ふくはうち」というかけ声を出すんだよと伝えたりし、豆まきを楽しんでもらえたらと思います。とはいっても豆は食べさせられない年齢なので、豆を食べる時にはボーロなどを代用して下さいね。恵方巻きを食べる今年の方角は「西南西」！食べる時には、お願い事をするよと「お願い」の身振りを見せるなど、お子さんと一緒に日本の伝統に親しんでもらえたらと思います。

鬼が描かれた幼児向けの絵本もいくつかありますので、読み聞かせての中でやりとりをし、一緒に楽しんで下さい\(^-^)/



『おにのパンツ』の歌に合わせたイラストが楽しめます。



窓あきの仕掛け絵本 ドキドキびっくりの意外性が楽しめます。



赤・青・黄・緑の鬼たちとにらめっこ。「ぷっ」という破裂音も楽しめます。



おらせ

3月2日（日）13:00～16:00和歌山城ホールで、和歌山県健康推進課・障害福祉課が主催する『耳の日公開講座』が開催されます。きこえない・きこえにくい方への支援機器や取組が紹介されたり、聴力検査や手話・要約筆記の体験ができたりします。参加費は無料ですので、興味のある方はご参加ください。詳細につきましては、学校にもチラシがありますのでお問い合わせください。